



領収書等添付一覧表

(令和4(2022)年度)

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

| 支出項目 | 調査研究費 | | | |
|------|----------|---------------------------------------|----------|------------------------|
| 整理番号 | 支出年月日 | 支出内容 | 支出金額 | 支払先 |
| 1-1 | R4.7.30 | 7月29日 行政視察(三条市小中一貫校、地場産業) | 3,304円 | 中村石油(株) NEXCO東日本 |
| 1-2 | R5.1.24 | 1月24日 行政視察(長野県信州型自然保育認定制度) | 6,360円 | JR東日本 |
| 1-3 | R4.12.15 | 10月25日~27日 行政視察(青森県むつ市、リサイクル燃料備蓄センター) | 404,646円 | JR東日本、(株)第一旅行サービス 他 |
| 1-4 | | 以下空欄 | | |
| 1-5 | | | | |
| 1-6 | | | | |
| 1-7 | | | | |
| 1-8 | | | | |
| 1-9 | | | | |
| 1-10 | | | | |
| 1-11 | | | | |
| 1-12 | | | | |
| 1-13 | | | | |
| 1-14 | | | | |
| 1-15 | | | | |
| 計 | | | 414,310円 | |


※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
| 笠原 晴彦  | 佐藤 正典  |

政務活動費

令和4年10月5日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

氏名 佐藤 正典 

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

| 月 日 | 費 目 | 金 額 | 備 考 |
|--------------------------------------|--------|-------|----------|
| 7月29日 | 自動車燃料費 | 1,647 | 中村石油（株） |
| 7月30日 | 交通費 | 1,657 | NEXCO東日本 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 | | 3,304 | |
| 概算（仮）払額 | | | |
| 差引 | （請求額） | 3,304 | |
| | （返金額） | | |
| （備考） 令和4年7月29日会派行政視察（三条市 小中一貫校、地場産業） | | | |

| | | |
|---------|---|---------------|
| 支 出 項 目 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所 | 整理番号 (項目別) |
| | | 1 - 1 |

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

整理番号 1 - 1 - 1

| 支出項目 | | ※該当する項目に○印 | |
|------------|---------|------------|---------|
| ① 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 |
| 9 人件費 | 10 事務所費 | | |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 **三條燕**

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

22年 7月29日 9時36分

車種 **普通**

通行料金 **¥1,240-**

(外払)

—入口料金所— **西山**

ETC 有効期限26年10月

会員番号 (支払 - 1回払い)

*****79015108

高速道路上で停止車両を見聞きた際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を！
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号203-01290855-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 **西山**

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

22年 7月29日 17時08分

車種 **普通**

通行料金 **¥1,080-**

(外払)

—入口料金所— **柴スマート**

ETC 有効期限26年10月

会員番号 (支払 - 1回払い)

*****79015108

高速道路上で停止車両を見聞きた際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を！
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号202-00701646-00

ENEOS

納品書(領収書)

レシート5万円分でティッシュBOX
5箱と交換できます。
6ヶ月間の有効期限とさせていただきます。

2022年07月30日 08:31

売上

Tカード会員 様

6-470496-49997-000

現金会員

車両番号 実車番

0026-00

レギュラー

14.69L

P-07

*

157円

¥2,306

合計

(消費税10%対象) ¥2,306

内消費税等 ¥210

お預り ¥5,000

お釣り ¥2,694

Tカード番号: XXXXXXXXXXXX0144

Tポイント: 35P

利用ポイント: 0P

利用可能ポイント: 1203P

本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsi-te.jpにてご確認ください。

現金でお支払い上げの場合は、
領収書にかえさせて頂きます。
消費税表示の別紙(内消費税)を
請求書にて請求いたします。
消費税は、地方消費税が含まれて
います。

<http://www.nakamura-oil.co.jp>

中村石油株式会社

柏崎新バイパスセルフ1SS

新潟県 柏崎市

半田1丁目18番20号

TEL:0257-20-7521

SS-470496

レシートNo 5298-03 データNo1445-1447

001

2022/07/30






※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

| |
|---|
| 会派長 |
|  |

| |
|-------|
| 政務活動費 |
|-------|

令和4年10月5日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

報告者氏名 笠原 晴彦 
 飯塚 寿之 
 秋間 一英 
 星野 幸彦 
 佐藤 正典 

政務活動報告書

次のとおり報告します。

| 種 別 | ■調査研究 (■行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議 | |
|-----|---------------------------------|--|
| 期 間 | 令和4年7月29日(金) | |
| 1 | 日 時 | 7月29日(金) 10:00 ~ 11:30 |
| | 用 務 | 1. 三条市小中一貫校に関する研究と意見交換及び現場視察 |
| | 出張先又は会場 | 一ノ木戸ポプラ学園 (三条市立一ノ木戸小学校/三条市立第二中学校) |
| | 調査又は要望項目(※) | 三条市が小中一貫校を開設するに至った経緯、学校運営における現状とメリット、デメリット等について |
| | 対応者(※) | 三条市立 一ノ木戸小学校 渡邊校長先生 同第二中学校 佐藤校長先生 三条市教育委員会 担当職員 |
| | 報 告 | 別添のとおり (視察参加の各議員所感を参照) |
| 2 | 日 時 | 7月29日(金) 13:30 ~ 16:30 各事業を1時間程度 |
| | 用 務 | 2. 三条市地場産業における現場の状況と後継者の育成等について |
| | 出張先又は会場 | ①マルナオ株式会社 ②株式会社 諏訪田製作所 ③株式会社 タダフサ |
| | 調査又は要望項目(※) | 三条市地場産業における工場の生産現場の現状と、若者を中心とする後継者の就労・育成について |
| | 対応者(※) | 各事業所の広報担当及び生産現場の皆様 |
| | 報 告 | 別添のとおり (視察参加の各議員所感を参照) |

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日 令和4(2022)年10月5日

| | |
|------------|---|
| 会派名 | 社会クラブ・柏崎のみらい連合 |
| 報告者氏名 | 笠原 晴彦、飯塚 寿之、秋間 一英、星野 幸彦、佐藤 正典 |
| 種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議 |
| 用務 | 会派行政視察 |
| 日時 | 令和4年7月29日(金) 10:00~16:30 |
| 場所 (会場) | 新潟県三条市 1. 一ノ木戸ポプラ学園 (三条市立一ノ木戸小学校/三条市立第二中学校) 2. マルナオ 株式会社 3. 株式会社 諏訪田製作所 4. 株式会社 タダフサ |
| 調査項目等 | 1. 三条市が小中一貫校を開設するに至った経緯、学校運営における現状とメリット、デメリットについて 2. 三条市地場産業における現場の状況と後継者の育成等について |
| 概要 | 1. 三条市小中一貫校に関する意見交換及び現場視察 ①三条市が小中一貫校を開設するに至った経緯、学校運営における現状とメリット、デメリット等について、三条市立一ノ木戸小学校、第二中学校のそれぞれの校長先生及び教育委員会の担当職員より説明を受け、その後、質疑、意見交換を行った。 ②小中一貫校の学校施設全体を見学させていただき、学校施設の有効活用についての事例を学んだ。 2. 三条市地場産業における3つの事業所(工場の生産現場)を見学させていただき、魅力ある製品づくり、技術の継承、若者が魅力とやりがいを感じる生産現場の現状、若者の就労・後継者の育成等についての成功事例を学んだ。 |
| 所管等 | 次のとおり |

① 三条市における小中一貫校についての教育委員会と意見交換と現場視察

三条市としては、小中一貫教育を導入し児童生徒の発達段階（基礎充実期 小1・2・3・4 活用期 小5・6中1 伸長期 中2・3）を考慮しながら、学校、家庭、地域が一体となった教育を展開。中1ギャップ問題を解決するために小中学校が連携、交流することにより、児童生徒の豊かな心、健やかな身体、学力の向上を図る目的として進められている。

保護者、地域、学校が一体とならなくてはできないことだと感じた。市全体で小中一貫校の推進に取り組むことで、学校の在り方を作っている。当時の市長の強い思いもあったが、それに対応した多くの人々の力により実現できたことと思う。通学時間や距離、小中一貫校を計画した時の地域の課題等について踏み込んだ回答が時間の関係でできなかったのが残念であった。

② 三条市の地場産業の状況

3社を訪問して感じたことは、伝統的な産業なのに、何か新しいものを感じさせているところが、集客につながっているところである。様々な年代の方に興味を持たせる発信力、安いものではないのに欲しくなる。うまく言葉で言い表せないが、なんかかっこいいのである。従業員も施設も地場産業を盛り上げ、自分のところだけでなく全体で盛り上げている姿に感銘を受けた。行政の支援も評価するところである。柏崎市の業者ともつながりがあるという話をお聞きし、連携しながらいいところはマネをし、お互いに利用し、柏崎でも取り組めるものを進めていただきたい。

1. 三条市における小中一貫校についての教育委員会と意見交換と現場視察

(1) 小中一貫校の導入、実施のプロセスは以下のとおり

平成 19 年 1 月に教育制度等検討委員会設置して以降、

小中一貫校教育検討委員会設置～「三条市小中一貫教育基本方針」策定

三条市教育委員会内に一貫教育推進室設置、三条市小中一貫推進委員会設置～

「三条市小中一貫教育推進指針」策定

三条市教育委員会内に小中教育一貫教育推進・教育センター設置という議論の経過を経て平成 25 年 4 月～全市で小中一貫教育の全面実施となった (24 小学校、9 中学)

(2) 小中一貫校導入の背景

身に付けたことを活用して論理的思考力の育成を図ることを重視した小 5、小 6、中 1 を特に重要な期間と位置付けたこと、中 1 ギャップ解消などが政策的背景である

(3) 小中一貫校のメリット

① 9 年間のカリキュラムをつなぐ、わかる授業の具現化

② 乗り入れ授業により、小学生にとっては興味、関心の高まり、より深い学習内容の理解が進むこと。中学生にとっては学習意欲の高まりと安心感が得られること

③ 中学校への不安軽減、中学生の自己有用感の向上、学習意欲の向上

(4) 小中一貫教育を支える組織、仕組み

三条市教育委員会を軸に、小中一貫教育推進委員会 (部会活動)、学園運営協議会、学園長会議、学校運営会議、コミュニティスクール導入による各学校における運営協議会、教職員の小中合同検討会、各種連絡会など各種、多様なたくさんの会議がある

(5) 所 感

小中一貫校の推進は、たくさんの人の力が必要である。関わる全ての人に「連携力」「観察力」が求められる。地域力も必要である。教育予算を確実に確保しなければならない。少子化、統廃合問題をはるかに飛び越えた「独自の教育政策」である。時間があれば各学園エリアの通学時間の問題、地域がどう変わってきたか、など一貫校づくりをめぐる地域の様々な課題、議論について理解を深めたかった。

2. 三条市の地場産業の状況

訪問した 3 社に共通すること。伝統の技に誇りを持ち、技を継承しつつ、リブランディングの取り組みで企業理念、事業目的を明確にし、社外に発信したことである。結果として雇用増、売り上げ増。とりわけ若い職人、女性の職人が倍増している。また製品価格そのものは高いが、価値ある製品、価値ある技術として海外含め、市場に認められている。「職人の技を見せる」きれいなオープンファクトリーには見学客が多い。行政の前向きな制度支援も評価すべきである。今までと同じことを繰り返していても淘汰されるばかりである。「変化を恐れない勇気」こそ、柏崎市の地場産業に必要なのではないか。

① 三条市における小中一貫校についての教育委員会と意見交換と現場視察

- ・平成 19 年より「教育制度等検討委員会」を設置し平成 25 年度には全市において小中一貫校に踏み切ったことについては感心させられた。
- ・柏崎と同じような面積で人口は多いが似ているような環境ではないかと推察されるなか、15 年前から小中一貫校に取り組む姿勢、危機感はあるを見据えたグランドがしっかりと考えていたのではないかと思う、柏崎は人口減少を心配するも学区統合という手段しか表明していないがこれしか方法がないのか、違った見方をすべきでなかったかと思う。
- ・校舎見学をさせていただいたが、2F に体育館、屋上にプールと先進的なつくりの校舎に驚きかんしんした。生徒たちもみんな挨拶もしっかりとされ素晴らしいと感心した。
- ・国や県からの指導もあると思うがもっと柏崎の環境に合った取り組みなどが必要ではないかと思う

参考

| | 三条市 | 柏崎市 | 差 |
|------|--------------------|--------------------|---------|
| 人口 | 94,137人 | 79,668人 | -14,469 |
| 面積 | 432km ² | 442km ² | +10 |
| 小学校数 | 20校 | 20校 | ±0 |
| 児童人数 | 4,383人 | 3,489人 | -894 |
| クラス数 | 259 | 158 | -101 |
| 中学校数 | 9校 | 11校 | +2 |
| 生徒人数 | 2,251人 | 1,782人 | -469 |
| クラス数 | 97 | 67 | -30 |

② 三条市の地場産業の状況

- ・3社見学したが、昔ながらの金物工業で社員の方たちが仕事に誇りをもって作業し妥協しないモノづくりに感心した。
- ・どの会社も女性社員が男性と同じ作業しているところもあり輸出や OEM など地場産業が根付いていると感じ良い製品に繋がっているのではないと思った、同じような会社が柏崎内にあるのか市内の状況も IT 産業を含め見る必要を感じた。

① 三条市における小中一貫校についての教育委員会と意見交換と現場視察

一ノ木戸ボプラ学園を視察し、小中一貫教育導入の背景と経緯、メリット、組織づくりや仕組みづくり等の説明をいただいた。

三条市は小中一貫校を含む学校教育について、早くも平成19年から『教育制度等検討委員会』を立ち上げ、平成25年度に全市での小中一貫校を実施したとの事である。少子高齢化・人口減少の中での教育環境について早い段階での着手、そして時間をかけた地域・現場・こども・親の理解と共働には深く関心させられた。

柏崎市においても人口減少による学区統合が問題となっているが、小中一貫校を進めろと言う事ではなく、学区統合を進めるにしても『地域・現場・こども・親』の理解は必須ではないかを感じる。そして理解を求めるには時間をかけた丁寧な進め方が望ましいと思った。

② 三条市の地場産業の状況

三条市の地場産業、いわゆるものづくりの現場を視察した。

硬木を使った箸等を製造するマルナオ株式会社、爪切り（話題のよく切れる）等を製造する株式会社 諏訪田製作所、多種多様な包丁を製造する株式会社 タダフサの三社を回った。

いずれの工場（イメージ的には制作現場・工房）も昔の工場からイメージされる油まみれだったり切り屑が散乱というのとは無縁であり、見学者に進んでものづくりを見てもらうと言うスタンスで『オープンファクトリー』化されていたことには驚いた。

オープンファクトリーにする事によって生まれた効果には、見学に来た地元の若い人の就職に直結したなどもある。オープンファクトリーだけでなくどの会社もものづくり産業が低迷していた時から生き延びるため様々な工夫や改革を行ってきたと言う。

ものづくり産業の勢いを感じた。柏崎市も三条市と同様に工業も重要視されているが決定的に異なっているのは部品製造主体であり『売れる製品』を持たない事が課題である。ロケットまで作れとは言わないが、魅力ある製品の開発に期待する。

① 三条市における小中一貫校についての教育委員会と意見交換と現場視察

一ノ木戸ポプラ学園は、一ノ木戸小学校618人、第二中学校288人を併設している、全体としては大規模な小中一貫教育校である。学校教育目標に加えて、「まなび」「こころ」「からだ」「ちいき」といった各分野の取り組みでは、「一貫性」ということがキーワードとなっているが、こうした教育方針により、9年間の在校期間において、児童・生徒が慣れ親しんだ環境で安心して学び育つことができるのだろう。

一ノ木戸ポプラ学園は正式名称ではなく呼称とのことだが、小中のそれぞれの校長が学園長、副学園長となっており、学園運営協議会を年3回程開催して、学園全体の、つまりは、小中学校同士の連絡調整が図られている。こうした動きは、通常の学校では当然ないことであり、一貫校としての特徴を活かすための重要な業務の一つなのだろう。教育委員会としては、その分の職員を配置して、教職員の過度な負担にならないように配慮しているとの説明があったが、特徴ある一貫教育を進めるうえにおいては、そのための人材も必要であることがわかった。

小中一貫教育のグランドデザインにおける、「リトルティーチャー活動」＝すなわち、小学校の児童と中学校の生徒との交流活動が、一貫校としての最も大きな特徴でありメリットだと感じた。

今後、多くの地域において、人口減少による児童生徒の減少は避けられず、柏崎市においては学校の統廃合が喫緊の課題となっている。そうした中で、三条市における小中一貫校の取り組みは、既存の校舎の効率的な活用を含め、学校運営の一つの形として、大いに参考になった。



② 三条市の地場産業の状況

マルナオ株式会社（硬木による箸等の製造）、株式会社諏訪田製作所（Gデザイン賞のつめ切り等）、株式会社タダフサ（多種多様な包丁製品）の3事業所を見学して感じたことは、オープンファクトリーの効果は絶大であるということだ。まさに、ものづくりの生産者が生産現場を外部からのお客や見学者に公開し、場合によっては体験をしてもらうことで、そこで作り出される製品の価値や魅力は何倍にも高まり、結果として販売増加に間違いなく結びついている。

そしてもう一つのメリットとして、人材の確保である。3事業所でそれぞれ説明いただいた広報（営業）担当者は、いずれも若いお三方であったし、工場で製造にあたっている職人さんも若い方々が相当数おられた。社屋、工場が比較的新しいことはもちろんあるが、もはや、かつての3Kのイメージの町工場ではなく、きちんとした労働環境下の中で職人さんが生き生きと仕事を行い、会社もそうしたことを大切にしているのだと感じられた。だからこそ、多くの若者が三条の町工場に入り、技術を磨き、優れた製品を作り出していくのだと。このことの一部を本視察で見ることができた。



様式3



| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
|  |  |


政務活動費

令和4年6月21日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

氏名 笠原晴彦  飯塚寿之 

星野幸彦  佐藤正典 

秋間一英 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

| | | |
|--|---|--------------------------|
| 種 別 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議 | |
| 期 間 | 令和4年7月29日(金) | ～ 令和4年7月29日(金) |
| 用 務 | 1 | 小中一貫校について教育委員会と意見交換と現場視察 |
| | 2 | 地場産業の状況 |
| | 3 | |
| | 4 | |
| 出張先 又は会場 | 1 | 三条市立第二中学校・一ノ木戸小学校 |
| | 2 | マルナオ株式会社 |
| | 3 | 株式会社 諏訪田製作所 |
| | 4 | 株式会社 タダフサ |
| 調査又は 要望項目 ※研修会、各種会 議は記入不要 | 1 | 小中一貫校に至った経緯 |
| | 2 | 現状とメリット、デメリット |
| | 3 | 三条市における現場の状況・後継者の育成 |
| | 4 | |
| そ の 他 | 公共交通では視察用務地間の移動が困難なため、自家用車使用。 | |

添付書類

- ・市外への出張は、行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式3-2

1 主な行程

| 月 日 | 発着地 | 視察地 | 用務 | 宿泊地 | 備考 |
|------|--------------------|---------------------------------|----------|-----|----|
| 7/29 | 柏崎市役所 発 一ノ木戸小 着 | 三条市立一ノ木戸 小学校、第二中学 校 | 小中一貫校の現状 | 無し | |
| 7/29 | 一ノ木戸小 発 三条市内 着 | マルナオ(株) (株)諏訪田製作所 (株)タダフサ | 三条匠技術の視察 | 無し | |
| 7/29 | 三条市内 発 柏崎市役所 着 | | 帰路 | 無し | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |

前泊必要 (理由:

後泊必要 (理由:

2 必要経費

| | | |
|---------|-----------------------|------------|
| ・ 高速代 | 3060 (1530*2) 円 ÷ 5 人 | ¥612 /1人 |
| ・ ガソリン代 | 2,080 円 ÷ 5 人 | ¥416 /1人 |
| ・ | 10km/L ・ @160*約130km | ¥1,028 /1人 |
| | 計 | 約¥5,140 5人 |

柏崎市議会「社会クラブ・柏崎のみらい連合様」
市内工場見学行程 案

- 1 年 月 日 令和4年7月29日(金)
- 2 見 学 先 マルナオ株式会社(三条市矢田1662-1)
TEL:0256-45-7001
株式会社諏訪田製作所(三条市高安寺1332)
TEL:0256-45-6111
株式会社タダフサ(三条市東本成寺27-16)
TEL:0256-32-2184

3 行 程

午前10時～午前11時30分

一ノ木戸ポプラ学園(第二中学校・一ノ木戸小学校)【視察】

↓
【昼食】

午後1時30分～午後1時50分

マルナオ株式会社(三条市矢田1662-1)【マルナオオープンファクトリー 見学】

【概要】

黒檀や紫檀などの硬木を使用し、材質の特性を活かした箸を製造しています。古くから培ってきた木工技術に注目です。

【主な製品】

箸、箸置き、カトラリーなど

【見学時間】

約15分(現地での説明あり)

↓ 移動(約2.0キロメートル 車で約5分)

午後2時～午後3時

株式会社諏訪田製作所(三条市高安寺1332)【SUWADA OPEN FACTORY 見学】

【概要】

グッドデザイン賞など多数受賞している「SUWADA つめ切り」。海外の美容関係者からも高い支持を受けています。

【主な製品】

つめ切り、園芸用鋏、キッチンツールなど

【見学時間】

約30分～40分(現地での説明あり)

【その他】

施設内に併設のカフェにてご休憩いただけます。

↓ 移動 (約7.0キロメートル 車で約15分)

午後3時15分～午後3時30分

株式会社タダフサ (三條市東本成寺 27-16) 【包丁工房タダフサ見学】

【概要】



職人が一本一本手造りで、家庭用や職人用問わず多種多様な包丁を製造しています。職人の手元を間近で見ることができます。

【主な製品】

包丁

【見学時間】


約15分 (現地での説明あり)

| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
| 笠原 晴彦  | 佐藤 正典  |

政務活動費

令和5年2月21日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合


氏名 佐藤 正典 

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。


| 月 日 | 費 目 | 金 額 | 備 考 |
|--|-------|-------|----------------|
| 1月23日 | 旅費 | 4,860 | JR往復乗車券（柏崎～長野） |
| 1月24日 | 旅費 | 1,500 | 旅費雑費 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 | | 6,360 | |
| 概算（仮）払額 | | | |
| 差引 | （請求額） | 6,360 | |
| | （返金額） | | |
| 1月24日 行政視察（信州型自然保育 認定制度について） （備考） 対応者：長野県 県民文化部 こども・家庭課（場所 長野県議会） 参加者：飯塚寿之 | | | |

| | | |
|---------|--|---------------|
| 支 出 項 目 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所費 | 整理番号 (項目別) |
| | | 1 - 2 |

| |
|---|
| 会派長 |
|  |

| |
|-------|
| 政務活動費 |
|-------|

令和5年2月8日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合
 氏名 飯塚 寿之 

政務活動報告書

次のとおり報告します。

| 種 別 | ■調査研究 (■行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議 | |
|-----|---------------------------------|---|
| 期 間 | 2023年1月24日 (火) ~ 2023年1月24日 (火) | |
| 1 | 日 時 | 1月24日 (火) 13:00 ~ 1月24日 (火) 15:00 |
| | 用 務 | 信州型自然保育「信州やまほいく」認定制度 |
| | 出張先 又は会場 | 長野県庁内/長野県県民文化部こども若者局 こども・家庭課 |
| | 調査又は 要望項目 (※) | (1) 認定制度に至る基本的考え方、事業概要、関係者の満足度 (2) 事業評価、事業継続にむけた課題 |
| | 対応者 (※) | 長野県県民文化部 こども若者局 こども・家庭課 課長代理 宮下尚子 様 / 自然保育普及及び推進員 藤田良子 |
| | 報 告 | 別紙のとおり |
| 2 | 日 時 | ~ |
| | 用 務 | |
| | 出張先 又は会場 | |
| | 調査又は 要望項目 (※) | |
| | 対応者 (※) | |
| | 報 告 | 別紙のとおり |

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日

令和5年2月8日

| | |
|--------------|---|
| 会 派 名 | 社会クラブ・柏崎のみらい連合 |
| 報告者氏名 | 飯塚 寿之 |
| 種 別 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議 |
| 用 務 | 信州型自然保育「信州やまほいく」認定制度 |
| 日 時 | 2023年1月24日 (火) ~ 2023年1月24日 (火) |
| 場 所 (会 場) | 長野県県民文化部 こども若者局 こども・家庭課 長野県議会 応接室 |
| 調査項目等 | 認定制度に至る基本的考え方、背景、事業概要について 自然保育が支持される理由 |
| 概 要 | <p>■研修内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 信州型自然保育認定制度のはじまり (2) 自然保育が支持される理由 (3) 子ども、保護者、事業者、自治体それぞれの満足度、事業評価 (4) 事業継続にむけた課題 (5) 推進施策、事業 (別紙参照) <p>■応対者</p> <p>長野県県民文化部 こども若者局 こども・家庭課 宮下 尚子 課長補佐 藤田 良子 自然保育普及および推進員</p> |
| 所 感 等 | <p>長野県の面積の8割を森林が占める。自然の恵みを活かし、自然への感謝の気持ちを醸成しながら、自ら学び成長しようとする力を育むために「信州やまほいく」認定制度が平成27年から開始された。</p> <p>これまで長野県として普及、推進に努めてきた結果、2022年10月時点で、やまほいく認定園は43市町村、270園まで拡大してきた。本制度による財政支出はさほど大きくない。事業評価、満足度から長野県としてはさらに普及、推進に取り組んでいく考えである。</p> <p>長野県は移住者が多いことで知られている。その中でも自然の中で伸び伸びと独自の保育環境、教育環境を求めて移住する子育て世代が多い。移住定住施策においても参考となる取り組みである。</p> <p>事業継続においては「すべてにおいて安全であること」が重要であり、施設含め、園内活動の安全対策には厳しい基準、配慮が求められる。</p> <p>柏崎市は少子化により中山間地域の保育園の統廃合が進んでいく傾向である。地域の特色を生かし、地域資源をおおいに活用しながら少人数・小規模でも特色ある運営を研究すべきではないか。</p> |


様式3

| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
|  |  |

政務活動費

令和4年12月16日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

氏名 飯塚 寿之 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

| | | |
|---|---------------------------------|----------------------------|
| 種 別 | ■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議 | |
| 期 間 | 2023年1月24日 (火) 13:30 ~ 15:00 | |
| 用 務 | 1 | 信州やまほいく (信州型自然保育) 認定制度について |
| | 2 | |
| | 3 | |
| | 4 | |
| 出張先 又は会場 | 1 | 長野県庁 (県民文化部 子ども若者局子ども・家庭課) |
| | 2 | |
| | 3 | |
| | 4 | |
| 調査又は 要望項目 <small>※研修会、各種会議は記入不要</small> | 1 | 認定制度に至る基本的考え方、背景、事業概要について |
| | 2 | 自然保育が支持される理由 |
| | 3 | 子ども、保護者、保育事業者、自治体それぞれの満足度 |
| | 4 | 事業評価について。事業継続に向けた課題について |
| そ の 他 | JR利用 (柏崎駅~長野駅) | |

- 添付書類
- ・市外への出張は、行程表等
 - ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式3-2

1 主な行程



| 月 日 | 発着地 | 視察地 | 用務 | 宿泊地 | 備考 |
|------|----------------|------|------------------------------|-----|----|
| 1/24 | 柏崎駅 発 長野駅 着 | 長野県庁 | 信州やまほいく (信州型自然保育 認定制度) | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |

前泊必要 (理由:)

後泊必要 (理由:)

2 必要経費


1. 24 JR往復 (普通 4,860 円 × 1 人
円 × 人

| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
| 秋間 一英  | 佐藤 正典  |

政務活動費

令和5年3月27日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

氏名 佐藤 正典 

政務活動経費請求書 (精算書)

政務活動経費について、次の通り請求 (精算) します。

| 月 日 | 費 目 | 金 額 | 備 考 |
|------------|---|---------|--|
| 12月15日 | 旅費 | 319,300 | JR柏崎～青森 乗車券、指定席券 宿泊費、取扱料金 |
| 12月15日 | 交通費 | 11,780 | レンタカー代金 (10/26むつ市内) |
| 10月26日 | 交通費 | 1,396 | レンタカー保険代 (550円)、同燃料 代 (846円) |
| 10月26日～27日 | 交通費 | 9,520 | タクシー代 (2台分乗×2区間) |
| 10月26日 | 旅費 | 12,650 | 青い森鉄道(株) 八戸～下北 乗車券 |
| 10月25日～26日 | 旅費 | 50,000 | 旅費雑費 (1,500円×2日間×5人) 朝食代 (10/26 1,000円×5人) 夕食代 (10/25 10/26 3,000円×2日 間×5人) |
| 合 計 | | 404,646 | |
| 概算 (仮) 払額 | | | |
| 差引 | (請求額) | 404,646 | |
| | (返金額) | | |
| (備考) | 10月25日～27日 行政視察 (青森県むつ市) 参加者：笠原晴彦、佐藤正典、飯塚寿之、秋間一英、星野幸彦 ※視察終了後、引き続き公務出張 (10月27日 第13回原発サミット、 品川プリンスホテル) | | |

| | | |
|---------|---|---------------|
| 支 出 項 目 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所 | 整理番号 (項目別) |
| | | 1 - 3 |

領 収 書 等 整 理 票

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

整理番号 1 - 3 - 1

| 支 出 項 目 | | ※該当する項目に○印 | |
|------------|---------|------------|---------|
| ① 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 |
| 9 人件費 | 10 事務所費 | X | |

№ 000232

領 収 証

柏崎市議会
社会クラブ・柏崎のみらい連合視察 様

令和4年12月15日

内 訳

| | |
|-----|---|
| 現金 | 0 |
| 小切手 | |
| 振込 | |
| その他 | |

¥ 331,080円

但 青森視察分

上記正に領収致しました

日本旅行特約店
(株) 第一旅行サービス

〒945-0051 柏崎市東本町1-1-2
TEL 0257 (21) 1551
FAX 0257 (21) 0087

代表取締役 田 中 茂

担当者: [Redacted]



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

整理番号 1 - 3 - 3

| | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| 支出項目 | | ※該当する項目に○印 | |
| ① 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 |
| 9 人件費 | 10 事務所費 | | |

印
紙

領 収 証

2022年 10 月 26 日
№ 149192

| | | | |
|------------------|--|--|------------|
| 社会クラブ・柏崎のみらい連合 殿 | | 領 収 金 額 | ¥ 550 |
| 1. レンタカー代 | | (内消費税 ¥50) | |
| ② 安心Wプラン | | 入 金 区 分 | ① 現 金 7550 |
| 3. 燃 料 代 | | | 02. 振 込 |
| 4. カーリース代 | | | 04. 小切手 |
| 5. 中 古 車 代 | | | 05. 手 形 |
| 6. 預 り 金 | | | 08. 相 殺 |
| 7. | | | 09. その他 |
| 8. | | 手 形 受 領 内 訳 | |
| | | 振出 期日 | 年 月 日 |
| | | 支払 期日 | 年 月 日 |

上記の金額正に領収致しました。 本領収証の保険料等額について領収証の保険料領収証が届いた際は事務手続きを要します。

株式会社トヨタレンタリース青森

〒038-0001 青森市新田三丁目1番1号 TEL (017) 782-7100

扱者印

◎無効=金額訂正・社印・扱者印・日付・宛名なきもの及び複写でないもの。

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

整理番号 1 - 3 - 4

| 支 出 項 目 | | ※該当する項目に○印 | |
|------------|---------|------------|---------|
| ① 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 |
| 9 人件費 | 10 事務所費 | | |

ENEOS

納品書(領収書)

2022年10月26日 15:43

売上 上 様 M

02222-900000-059

現金フリー

車両番号 実車番

2000-00

レギュラーガソリン P-02

5.29L *

160円 ¥845

(内ガソリン税53.80円 ¥285)

合計 ~~¥1,845~~ ¥845

(消費税10%対象 ¥77)

内消費税等

お預り ¥1,000

お釣り ¥154

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

田村商事 カータクト下北

青森県 むつ市下北町1-16

TEL:0175-34-9381 SS-002222

カートNo 2940-01 デーNo6204-6205

010セルフ1 2022/10/26

領 収 書

2022年10月26日 -001

メーター運賃 ¥2,380円

合計 ~~¥2,380円~~

現金支払 ¥2,380円

車両番号 0751

上記正に領収致しました。

ポストタクシー(株)

青森県八戸市城下1-28-1

☎ 0178-22-4156

領 収 書

2022年10月26日 -002

メーター運賃 ¥2,560円

合計 ~~¥2,560円~~

現金支払 ¥2,560円

車両番号 0703

上記正に領収致しました。

ポストタクシー(株)

青森県八戸市城下1-28-1

☎ 0178-22-4156

5人 2台分乗

10/26 八戸市内

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.0076

日付 '22年10月27日

車番 000838 000

基本運賃 ¥2380円

合計 ~~¥2,380円~~

上記の通り領収致しました

毎度ご乗車

ありがとうございます。

八戸タクシー

株式会社

0178-22-1181

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.6346

日付 '22年10月27日

車番 000809 000

基本運賃 ¥2200円

合計 ~~¥2,200円~~

上記の通り領収致しました

毎度ご乗車

ありがとうございます。

八戸タクシー

株式会社

0178-22-1181

5人 2台分乗

10/27 八戸市内

領 収 書 等 整 理 票

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

整理番号 1 - 3 - 5

| 支 出 項 目 | | ※該当する項目に○印 | |
|------------|---------|------------|---------|
| ① 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 |
| 9 人件費 | 10 事務所費 | | |

領 収 証

No. 00001

社会みらい 様

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 金 | | | | 4 | 1 | 2 | 6 | 5 | 0 | 円 |
|---|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|


10/26
11P → F/c
578
2530 x 52

ただし、
上記の金額を領収しました。

2022 年 10 月 26 日
青い森鉄道株式会社
青 八 戸 駅

収入印紙 (印)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

| |
|---|
| 会派長 |
|  |

| |
|-------|
| 政務活動費 |
|-------|

令和5年3月27日

会派名 社会クラブ、柏崎のみらい連合
 氏名 笠原晴彦 飯塚寿之
 秋間一英 星野幸彦
 佐藤正典

政務活動報告書


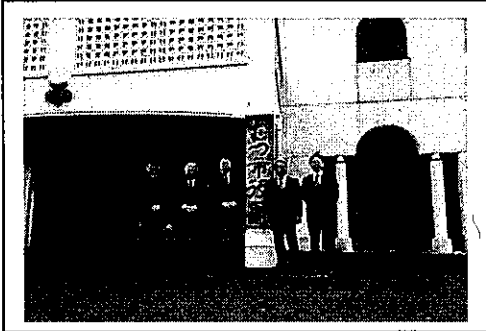
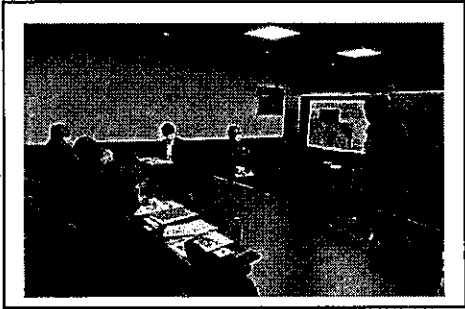

次のとおり報告します。

| 種 別 | ■調査研究 (■行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議 | |
|-----|---------------------------------|--|
| 期 間 | 令和4年10月25日(火) ~ 令和4年10月27日(木) | |
| 1 | 日 時 | 10月26日(水) 9:30 ~ 11:30 |
| | 用 務 | 青森県むつ市 行政視察 |
| | 出張先 又は会場 | むつ市役所 (むつ市中央1丁目8-1) |
| | 調査又は 要望項目 (※) | 使用済燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| | 対応者 (※) | むつ市企画政策部エネルギー戦略課 課長 葛西 信弘 氏 同 主査 佐藤 純也 氏 |
| | 報 告 | 別紙のとおり |
| 2 | 日 時 | 10月26日(水) 13:30 ~ 15:00 |
| | 用 務 | リサイクル燃料備蓄センター 視察 |
| | 出張先 又は会場 | リサイクル燃料備蓄センター (むつ市大字関根字水川目596-1) |
| | 調査又は 要望項目 (※) | 使用済燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| | 対応者 (※) | リサイクル燃料貯蔵(株) 地域交流部 部長 [redacted] 氏 同 副部長 [redacted] 氏 (柏刈原発 広報部 [redacted] 氏 同行) |
| | 報 告 事 項 | 別紙のとおり |

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日 令和5年3月27日

| | |
|------------|--|
| 会派名 | 社会クラブ・柏崎のみらい連合 |
| 報告者氏名 | 佐藤 正典 |
| 種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議 |
| 用務 | 青森県むつ市 行政視察 リサイクル燃料備蓄センター 視察 |
| 日時 | 令和4年10月26日(水) 9:30~15:00 |
| 場所 (会場) | ① むつ市役所 (むつ市中央1丁目8-1) ② リサイクル燃料備蓄センター (むつ市大字関根字水川目596-1) |
| 調査項目等 | ① 使用済燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 ② 使用済燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 概要 | <p>① むつ市使用済燃料税を中心とした、中間貯蔵施設とむつ市との関りを学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>② リサイクル燃料備蓄センターの建設に至る経過の説明を受け、備蓄センター建屋並びに内部の金属キャスクの実際を視察した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| 所感等 | 視察所感は以下のとおり |

【社会みらい】むつ市及び中間貯蔵施設 視察所感

議員氏名 笠原 晴彦

1 青森県むつ市 行政視察（むつ市役所）

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| 所 感 | <p>使用済み核燃料の中間貯蔵施設について、むつ市は「使用済み核燃料搬入税」を提案していた。財政的に非常に厳しいむつ市としては当初、19,400円/kg、貯蔵中1,300円/kgを設定していた。今般柏崎市と同じ620円/kgとした。</p> <p>前段の、計画を大きく下まわっているが、財政計画には影響しないのかとの質問では、最初から財政計画に組み込んでいないので全く影響はないとのご回答であった。根拠があつての計画ではなかったのか疑問が残った。</p> <p>当初は、搬出元の税金が低く、搬出先が大きく高い税金であったため普通に考えれば搬出はできないのではと考えたが、同額になったことにより搬出はしやすくなった。ただ東京電力は核燃料の移動を禁止されている。</p> |

2 リサイクル燃料貯蔵(株) 視察（リサイクル燃料備蓄センター）

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 所 感 | <p>リサイクル燃料貯蔵株式会社 2005年11月21日設立 資本金30億円 株主 東京電力ホールディングス株式会社 80%、日本原子力発電株式会社20% 従業員現在82名である。</p> <p>最終的な貯蔵は5000t、現在3000t規模の貯蔵建屋があり、2棟目2000t規模を今後建設する。施設ごとの試用期間は、50年である。2013年に1棟目が完成しているが、搬入時期は決まっていない。</p> <p>いずれは核燃料が貯蔵されることになると思うが、確実な安全性と安心が担保されなければならない。</p> |

【社会みらい】むつ市及び中間貯蔵施設 視察所感

議員氏名 佐藤 正典

1 青森県むつ市 行政視察（むつ市役所）

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| 所 感 | <p>むつ市の中間貯蔵施設に関して、まず理解しなければならないことは、東電と原電による原子力発電所で発生する使用済核燃料保管が限界に近づいてきている現実と、むつ市の危機的財政状況に対する財源確保の期待が一致したことにある。</p> <p>とりわけ、青森県下北圏域における中心都市として役割がむつ市に求められていることの意味合い、つまりは、圏域の住民生活の支えと、原子力産業が大きく関連性を持っていることである。これは今視察時での説明でわかったことである。</p> <p>実際における、むつ市使用済核燃料税の制度内容は、先行して創設した柏崎市の使用済核燃料税を相当に参考としているものであり、もっと言えば、柏崎市がむつ市に対して大きな影響を与えている。当初はウラン1キロあたりの貯蔵に関する年間課税額を 1,300 円としていたが、大幅な譲歩案が採用された結果、柏崎市と同様の税率・税額である、年間 620 円に設定された。このことは事業者である RFS（リサイクル燃料貯蔵㈱）の事業計画と経営に大きく配慮されたものである。使用済核燃料を受け入れる自治体の事情よりも、むしろ、原子燃料サイクルを含む原子力事業の推進を優先させているように感じた。</p> <p>原子力発電所から排出される使用済核燃料の貯蔵の受け皿となり、その対価としての使用済核燃料税を創設するあたり、むつ市はプロジェクトチームを立ち上げて、市民参加による意見徴取を繰り返し行うなど、相当な努力を重ねてきたことが、今回の視察で理解できた。しかし、一方で、日本における核燃料サイクルの現状を冷静に見ても、それが確かなものとして動き出し、将来の原子力発電事業において全く不安は無いと言える状況には、まだまだ程遠いと感じた。</p> |

2 リサイクル燃料貯蔵㈱ 視察（リサイクル燃料備蓄センター）

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 所 感 | <p>使用済核燃料を収納する、一体が約120トンある金属キャスクを収めるための、幅62メートル、奥行き131メートル、高さ28メートルの巨大建屋。これが中間貯蔵施設そのものである。ほぼ完成している一棟目の建屋を見学させていただいた。</p> <p>むつ市と RFS（リサイクル燃料貯蔵㈱）と安全協定を結び、細かな対応等については両者で協議することになっているとの説明を受けた。原子力発電所と異なるのは、PAZ、UPZ という概念は持たない施設であるということだ。</p> <p>事業開始（貯蔵開始）から50年という本施設の使用期間は決定済みだが、その後の使用済（リサイクル）核燃料の搬出先は決まっていない。貯蔵期間の確かな安全性と明確な核燃料サイクルの実現について、しっかりと国民に示していただきたいと願う。</p> |

【社会みらい】むつ市及び中間貯蔵施設 視察所感

議員氏名 飯塚 寿之

1 青森県むつ市 行政視察（むつ市役所）

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| 所 感 | <p>柏崎市は2020年4月、使用済み核燃料税条例を改定した。内容は480円/kgを620円/kgに、また柏崎刈羽原子力発電所に保管されている使用済み核燃料の搬出を促す目的で、保管期間に応じて税額を決める経年累進課税を創設、追加した。さて同じ時期に搬出先である中間貯蔵施設をもつ青森県むつ市では、新税として「使用済み核燃料搬入税」が提案されていた。納税義務者、課税対象者は中間貯蔵施設RFS、東京電力ホールディングス・日本原電である。</p> <p>総合病院への拠出金を含め、財政難となっているむつ市の危機的な状況を打開するため、提案当初は安定的な財源の確保を目的に19400円/kg、貯蔵中は1300円/kgと設定し、5年間で約90億円を見込んでいたが、最終的には柏崎市と同じ620円/kgと引き下げた。総務省も同意した。</p> <p>2020年4月の柏崎市議会では、搬出元である柏崎市より搬入先のむつ市側が高い税金であれば、搬出促進にならないのではないか？という疑問があったが同額となったため搬出のハードルも引き下げられたことになる。</p> <p>視察では、以下についての質疑があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故、大幅に引き下げたのか ・大幅の引き下げで行政需要に対応できるのか ・提案内容が大きく変わったが、議会での議論は尽くされたのか ・RFS含め、原子力施設の誘致について住民はどう受け止めているか <p>今後は柏崎刈羽原発の再稼働と中間貯蔵施設の操業開始ならびに最終処分場を含めた核燃料サイクルに関心が高まる。</p> <p>産業が少なく、人口減少が著しい原発立地自治体の悩みは全国どこも同じである。財源確保の手法は、「やっぱり原子力施設に頼ること」が手っ取り早いなど。</p> |

2 リサイクル燃料貯蔵(備) 視察（リサイクル燃料備蓄センター）

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 所 感 | <p>視察項目は、中間貯蔵視察の概要、操業開始時期、安全対策について。</p> <p>施設概要は次のとおり。</p> <p>貯蔵能力：東京電力分4000t、日本原電分1000t 貯蔵期間：50年</p> <p>質疑では以下について質疑があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操業開始時期の延期が8回となっていることから、操業開始の見込みについて ・安全審査の長期化で新規制基準への適合が遅れていること ・追加の安全対策工事の概要 <p>最終処分場が決まらない中で、核燃料サイクルに寄与する施設となるのか、また地盤の問題と併せ、他国の軍事船舶が津軽海峡を航行している現実に対して、近隣住民の安全確保についても議論を深めたかった。</p> |

【社会みらい】むつ市及び中間貯蔵施設 視察所感

議員氏名 秋間 一英

1 青森県むつ市 行政視察 (むつ市役所)

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| 所 感 | <p>使用済み核燃料中間貯蔵施設誘致に至る経緯等を伺うため行政視察を行った。</p> <p>市庁舎は大手スーパー撤退後を 25 億円かけ改修したと聞いたが 1 フロアーで通路は広く天井も高く、会派室はあるもののほとんど議員控室の使用だけとのことだった、各部署も広いスペースで作業もやりやすいのではと感じた。</p> <p>さて、中間貯蔵施設誘致に至る経緯についてはまず、むつ市の面積が近隣 3 町村合併で 864 km²になり、医療機関への負担増、高度医療を受けるには青森市まで 2 時間以上かかる、また消防施設が広範囲なため消防費の負担が多いなどで財政赤字が 20 億円を超えるまでになった為、何としても財政立て直しが必要となり国からの交付金に頼らざるを得ないためとの説明があった。柏崎に比べ面積が 2 倍、人口が 2/3 となれば行政施設や人員配置などに費用がかさむのは当然の事と思う。</p> <p>令和 2 年の条例で受け入れ時 19,400 円/kg、貯蔵 1,300 円/kg = 20,700 円/kg が紆余曲折などあり本年令和 4 年 1 月に新税率 620 円/kg と 1/33 と大幅な譲歩で受け入れを促していた。最後の手段だったのかとも思うが、市議会議員が 22 人、職員が 500 人と聞くと貯蔵施設誘致前に別のところから大ナタを振るっても良かったのではと感じた。</p> <p>むつ市民は「原子力船 むつ」で原子力についてはある程度免疫があったようだが、中間貯蔵は最初の搬入があってから 50 年を目途に搬出するとしていて、40 年目までに搬出先を協議するとのことだが、国の問題先送りや原発財源に頼る構図がやはりここでもかと思うと本当に日本のいや世界の原子力問題は解決するのか？疑問が深まるばかりだった。</p> |

2 リサイクル燃料貯蔵(株) 視察 (リサイクル燃料備蓄センター)

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 所 感 | <p>原子力発電所から出る使用済み核燃料を貯蔵・管理を目的として東京電力ホールディングス(株)と日本原子力発電(株)の共同出資でリサイクル燃料貯蔵(株)2005 年 11 月に設立された。2 社から排出された使用済み核燃料のみを受け入れるとのことだった。貯蔵量としては東電分 4,000t、原電分 1,000t 分を見込んでいて事業の暫定的な稼働は 2023 年度としている。敷地は 500m×500m と広く港まで専用道路での移動となっている、当然各所保安の面で撮影禁止だった。</p> <p>ウラン重量 10t を金属キャスクに閉じ込め 288 本、約 3,000t 分保管できる施設で貯蔵期間中の冷却は自然対流による方式で金属キャスク表面温度を約 40℃程度に保つとのことだったが異常時に強制冷却は必要ないのか確認できなかった。</p> <p>貯蔵施設では東電出身の社員の方が多いため少しでも早い受け入れを希望していたが、六ヶ所村の再処理工場の稼働も気になるどころだと言っていた。ほとんど完成している施設で貯蔵の為の最終確認中な雰囲気が感じられた。</p> |

【社会みらい】むつ市及び中間貯蔵施設 視察所感

議員氏名 星野 幸彦



1 青森県むつ市 行政視察（むつ市役所）

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| 所 感 | <p>青森県むつ市は、原子力発電による使用済み核燃料を最終処分前に中間的に保管をする『中間貯蔵施設』における“使用済み核燃料税”について税率等の方針を決定した。税率については、当初の方針を大幅に減額し柏崎市と同等の金額となったとの事である。</p> <p>国の定まらない使用済み核燃料の処分問題に翻弄される自治体の苦勞が垣間見られた。柏崎市が排出する事になる“使用済み核燃料”（柏崎のゴミ）である事を考えるとき、申し訳ない気持ちになってしまった。</p> <p>いずれにしても柏崎市は原発敷地内に使用済み核燃料を保管させないと言う基本方針がある。むつ市に迷惑をかけているのだと言う認識は持ち続ける必要がある。</p> |

2 リサイクル燃料貯蔵(株) 視察（リサイクル燃料備蓄センター）

| | |
|-----|---|
| 内 容 | 使用済核燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| 所 感 | <p>この施設は文字通りリサイクル燃料を貯蔵するためのものである。</p> <p>リサイクル燃料とは何か、原子力発電で使用済みとなった核燃料の事である</p> <p>国の核燃料サイクルにのせるまで一時的（中間的）に使用済み核燃料を保管するためだけの施設である。核燃料サイクルが確立していたならば不要な施設と言えるのではないかと思う。建物は確かに立派であります、青森県六ヶ所村の再処理工場が機能していれば基本不必要な施設であり、正直国の核燃料サイクルのいい加減さのしわ寄せであると感じる。</p> <p>*青森県六ヶ所再処理工場：使用済み核燃料を再処理をしてMOX燃料を生成するための施設 1997年に完成する予定であったが、25回も完成が延期されている。</p> |

様式3.



| | |
|---|---|
| 会派長 | 経理責任者 |
|  |  |

政務活動費

令和4年10月11日

会派名 社会クラブ・柏崎のみらい連合

氏名 笠原晴彦  飯塚寿之 

秋間一英  星野幸彦 

佐藤正典 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

| | | |
|----------------|---|----------------------------------|
| 種 別 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議 | |
| 期 間 | 令和4年10月25日(火) ~ | 令和4年10月27日(木) |
| 用 務 | 1 | 青森県むつ市 行政視察 |
| | 2 | リサイクル燃料備蓄センター 視察 |
| 出張先 又は会場 | 1 | むつ市役所 (むつ市中央1丁目8-1) |
| | 2 | リサイクル燃料備蓄センター (むつ市大字関根字水川目596-1) |
| 調査又は 要望項目 | 1 | 使用済燃料の中間貯蔵施設に関する行政対応についての調査 |
| | 2 | 使用済燃料の中間貯蔵施設についての調査 |
| ※研修会、各種会議は記入不要 | | |
| そ の 他 | 公共交通での移動が困難な区間は、タクシー、レンタカーを利用する。視察終了後は公務出張 (原発サミット出席) の用務地へ向かう。 | |

添付書類

- ・市外への出張は、行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式 3-2

1 主な行程

| 月 日 | 発着地 | 視察地 | 用務 | 宿泊地 | 備考 |
|-------|-----------------|-----------------------------|----------------|---------------|----|
| 10/25 | 柏崎駅 発 本八戸駅 着 | 無し | 前泊 | 元八戸 | |
| 10/26 | 八戸駅 発 下北駅 着 | ①青森県むつ市役所 ②リサイクル燃料備蓄センター | 左記における視察、調査 | 元八戸 | |
| 10/27 | 八戸駅 発 品川駅 着 | 無し | 移動（原発サミットへの参加） | 東京（品川プリンスホテル） | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |
| / | | | | | |

前泊必要、（理由：むつ市役所の視察時間が10月26日の9：30～11：30のため）

後泊必要 （理由：視察終了後に公共交通機関で帰泊できないため後泊し、原発サミット会場へ直行するため）

2 必要経費

- ・ 交通費、宿泊費、日当の概算合計で、一人あたり約90,000円を見込んでいます。
（別添の行程表を参照）

会派 社会クラブ・柏崎のみらい連合 10/26 視察 質問項目

1 「青森県むつ市」様への質問事項

- (1) 使用済核燃料中間貯蔵施設誘致に至る経緯について
- (2) 使用済核燃料搬入税の協議経過、決定まで経緯、議会对応について
- (3) 原子力発電施設と地域振興策について
- (4) その他

2 リサイクル燃料備蓄センター（使用済核燃料中間貯蔵施設RFS）様への質問事項

- (1) 施設概要について
- (2) 使用済核燃料の搬入までのスケジュールについて
- (3) 核燃料サイクルの現状と課題について
- (4) その他

青森県むつ市役所 ～ リサイクル燃料備蓄センター ～ 原発サミット

10月25日 (火) ～ 10月28日 (金)

行程

| | | | | | | |
|---------|-----------------|--------------------------|------------------------------|------------------------|-------------|-----|
| 25日 (火) | 柏崎駅 9:54 | 長岡駅 10:25着 | 大宮駅 12:03着 | 八戸駅 15:04着 | 本八戸駅 15:21着 | ホテル |
| | JR信越本線快速 長岡行 | 10:44発 とき316号 東京行き | 12:45発 はやぶさ23号 新函館北斗行き | 15:13発 JR八戸線 鮫行き | | |

| | | | | | | | |
|---------|-------------------------------|---------------|----------------------|----------------------|------------------------|--|------------|
| 26日 (水) | ホテル 06:40発 タクシー | 八戸駅 07:16発 | 乗り換え地 野辺地駅 08:01着 | 下北駅 09:02着 | むつ市役所 09:30～ 11:30至 | リサイクル燃料 備蓄センター 13:30～ 15:00?至 | 下北駅 17:05発 |
| | 八戸駅まで約15分 5.5km | | 車中朝食 | 市役所まで約2km レンタカーにて | | | |
| | 下北駅 17:05発 JR大湊線 野辺地駅行き | 八戸駅 18:57着 | 乗換地 野辺地駅 18:02着 | 八戸駅 19:34着 | ホテル | | |
| | | 八戸行き 青い森鉄道 | | JRがタクシ | | | |

| | | | | | | |
|---------|--------------------|----------------|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------------------|
| 27日 (木) | ホテル 06:40発 タクシー | 八戸駅 07:17発 | 東京駅 10:32着 | 品川プリンス ホテル 12:30(13時)～ | 品川プリンス ホテル 13:17 | 品川駅～東京駅 16:23 着 |
| | | はやぶさ8号 東京行き | 朝食 10:45発 山手線外回り 品川・渋谷方面 | 昼食 20:00(懇親会)至 宿泊 予約済 | 会議09:30～ 10:30至 | 品川発 東京着 東京発 長岡着 長岡発 |

28日 (金)